

## 関東甲信越支部長活動報告

2010年11月



支部長 上浪 寛

### 支部執行部からのメッセージ

11月前半でJIAの秋のイベントが終わりました。皆様お楽しみいただけただけでしょうか。これらイベントの参加は会員との交流のみならず文字通り自己研鑽の場ともなり、CPD 単位もまとまって取れるチャンスです。皆様の積極的な参加をお待ちしております。1月には「新春の集い」、3月には「保存大会 in 大谷」が開催されます。これら冬のイベントは、それぞれ毎年 100 人以上が集まり、建築で大いに盛り上がります。参加したことのない皆様も含めて、ぜひ参加して楽しんでください。

### 支部長活動報告

- 2 日 アーキテクト・ガーデンのキーノートスピーチとして藤森照信氏による講演が行われた。目に見えない原理の探求という 20 世紀建築の総括から始まり、伊東豊雄を初めとして日本の建築家が設計で行っている様々な実験こそが、21 世紀の世界の建築の行方に大きく貢献できるのではないかと語られた。その後、恒例のレセプションパーティーが開催され、学芸祭部会の面々による演奏に耳を傾けながら夜の会を楽しんだ。
- 3 日 アーキテクト・ガーデン、プレミアムオークションは広く一般からの参加を募るため、Yahoo! オークションに出品した。落札時間を 3 日午後 5 時から 8 時までの間で 10 分程度ずつずらして設定し、建築家倶楽部で落札会を催した。安藤忠雄さんの B1 ドローイング 3 点セットや槇文彦さんや北河原温さんのリトグラフ、隈研吾さんのドローイング、横河健さんの椅子など、ほとんどの作品が落札された。総額約 66 万円の売り上げとなり、費用を差し引いた 45 万円を JOB への寄付にあてることができた。
- 5 日 交流委員会主催による「フレンズカップ」が川越カントリークラブで開催された。素晴らしい天気にも恵まれ、65 名の参加者はゴルフを堪能しながら大いに交流を深めることができた。
- 9 日 東京国際フォーラムで 5 会担当者によるセミナー会場(C ホール: 1,500 人)の視察会が行われた。その後、議員会館で開催された「建築基本法セミナー」に途中まで参加する。10 名の国会議員の他、議員秘書も多数参加され、関心の高さを実感する。JIA で資格制度委員会に出席する。2002 年の 2 会会長合

- 意に基ずく士会との協議が進展している。UIA 東京大会開催というきっかけも念頭に入れての協議となるだろう。
- 12 日 千葉県幕張市で常任幹事会と地域サミットが開かれる。新公益法人への移行に伴う定款改定でも地域会の位置付けは大事なポイントとなる。また、新しい一般法人法に定められるガバナンスの強化のため、間違えのない会計処理が重要になる。なるべく地域会の負担を軽減するため、地域会の作業は現金出納帳と通帳を支部に提出することとし、支部は税理士事務所に経理処理を外注する方法が検討されている。今年度の決算は新会計基準でよいが、来年度の予算は新々会計基準で作成しなければならない。新々会計基準を満足するための事業項目を分かり易く示していく必要がある。また現在、外部団体との契約は JIA 会長の名前で行っているが、支部長理事(本部理事)の名前でも可能とする案が検討されている。地域サミットの後は場所を移し、千葉地域会幹事の方々を交えて歓談した。
- 13 日 午前中は千葉地域会主催による建築見学会を行い、昼からは新宿リビングデザインセンター OZONE 1 階で開催される建築模型展に参加する。
- 17 日 会員種別 WG が開催される。会員種別の定款(案)並びに会員規則、会費規定上の会員種別の整理を行う。
- 18 日 1 月の「一万人の世界建築家展」稼働に向けて実行委員会の下打ち合わせを行う。午後、JIA で UIA 大会支部推進委員会が開かれる。支部で集めている UIA 大会支援金(2 年度に渡り会員一人当たり 8 千円ずつ合計 1 万 6 千円)の今年度分の中間集計によれば、来年 3 月末時点で最低 1,500 万円集める予定が、約 1,300 万円程度になりそうである。参加登録の目標人数達成もかなり厳しい状況である。
- 19 日 本部合同諮問会議が午前中に開かれる。会員種別についての議論に多くの時間を割いた。現状の定款、会員規則、会費規定に定義されている会員種別はちぐはぐな部分があるため整理する必要がある。また、正会員予備軍並びに広く一般から JIA サポーターを募る新しい会員種別についても討議した。地域会を定款でどう位置付けるかも大きな議論となった。夕刻、支部組織再編会議が開かれた。単独委員会として総務、広報、交流、保存、相談、苦情、資格制度が挙げられた。現在、活発に活動している実行委員会について、事業委員会、教育事業委員会という 2 つのマザー委員会の管轄とする事が提案された。それぞれの実行委員会から委員長がマザー委員会に所属し、情報を共有して活動の活発化、今まで以上に会員参加を促す等、活動面でのパワーアップを図ろうと考えている。
- 24 日 「一万人の建築家展」について協議する。JIA 主催プログラムの一つで、UIA 大会参加登録推進ツールとして活用する。

- 25日 JOB 部会長会議が開催される。1月13日から始まる大会正式登録開始に向けて、プログラム内容についての詳細な進捗が報告される。後援希望団体が増えてきている。
- 26日 全国支部長会議が高知で開催される。四国支部 長細木さんが設計監理された町営施設「オーベルジュ土佐山」で開催された。素晴らしい環境に囲まれた居心地の良い施設で、同時に行われた UIA 大会推進委員会のメンバーとも合同で会議、懇親会を行った。
- 28日 馬淵大臣就任報告会に参加した。金集めのパーティーというものではなく、参加費は実費に近いもので、企業献金を一切受け取らない（個人寄付のみによる政治活動）馬淵大臣の政治姿勢を実感した。来春早々、社会資本整備計画、交通基本計画を国土交通省として初めて策定する事を明言された。建築基本法のロードマップを提示されることを期待したい。



支部長活動報告 2010年11月

2010年11月30日作成 上浪 寛

「万人の建築家展」<http://www.10000architects.com/>

UIA  
2011  
TOKYO DESIGN  
2050

September 25 - October 1, 2011